

## 軽量盛土で軟弱地盤に新バイパス開通

新潟県  
阿賀野市

### EDO-EPSS工法

福島県いわき市から新潟県新潟市へと至る国道49号は、太平洋岸と日本海岸とを結ぶ地域の主要幹線道路です。

しかしそのルート上、新潟県阿賀野市を抜ける区間は、一日2万台に迫る交通量を抱え、その幅員も狭いことから恒常的に渋滞が発生、交通事故も多発していました。また阿賀野市の中心市街を通過しているため、交通騒音等、生活環境に与える影響が問題視されていました。

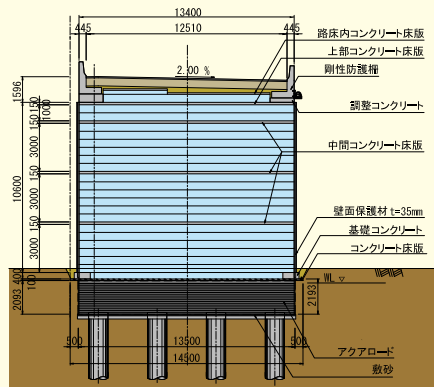
これらの問題を解消し通過交通の緩和を目指して整備が進むのが「阿賀野バイパス」です。同道はまた、市域が広く接する一級河川阿賀野川に万が一氾濫等が発生した場合を想定した高盛土構造とすることで緊急



輸送道路として機能することも念頭に置いた設計が盛り込まれています。

そのルート上のうちJR羽越線を越える跨線橋部前後の盛土には、岡三リビック納入の超軽量盛土工法「EDO-EPSS工法」が採用されています。EDO-EPSS工法は通常の土砂やコンクリートの約1/100という軽量さで、地盤改良が難しい沖積層の軟弱地盤対策としての盛土重量の低減を実現しています。

阿賀野バイパスは昨年12月4日に延長8.1kmのうち5.4kmが部分開通。地域の利便向上が期待されています。



### 工事概要

施主: 国土交通省新潟国道事務所  
 工事名: 国道49号阿賀野バイパス  
 施工会社: 株式会社廣瀬  
 株式会社福田組  
 大日本土木株式会社  
 小柳建設株式会社  
 商品名: EDO-EPSS工法 21,410m<sup>3</sup>



お寺巡りの趣味などをされていなくても、SNS映えするカットが撮れますので、ぜひ一度、足を運ばれてみてはいかがでしょうか。

私は御朱印集めで少なくない数の寺社仏閣を巡ってきましたが、初めて増上寺を訪れた際は、巨大な朱色の門を潜ると見えてくる本殿の優美さや壮大さに感動を覚えました。また、東京のシンポルのひとつ東京タワーをバックに拝めるところも唯一無二の魅力です。由緒ある仏教建築とシンボルタワーの共演は、まさに絶景。本殿とタワーそれぞれがライトアップ競演する美しい夜景や、境内にあふれる桜越しに見る春の装いなど、いつ訪れても違った顔を見せてくれます。

増上寺は、約六百年の歴史を持ち、徳川將軍家の菩提寺ともなっていた由緒あるお寺です。境内には徳川十五代のうち二代秀忠を始め六代の墓があるほか、様々な由来のある石碑や石塔が多く立てられ、その歴史を実感します。勝運、安産、厄除け等のご利益があるといい、いつも観光客や参拝客で賑わっています。

増上寺  
 経営企画部 榎本隆也



岡三リビック  
 商品群

道路・盛土 多数アンカー式補強土壁工法 トリグリッドEX パラリンク フラットパネル RRR工法 EDO-EPSS工法  
 ダイブラハウエル管 法面・防災 多機能フィルター ミニアンカーDO PDR工法 サビレス100  
 維持・管理 ARISライナー工法 SWライナー工法 RCGインナーシールα工法 Tn-p工法 ローマットHDB  
 鉄鋼建材 ライナープレート コルゲートパイプ 景観・環境 ロッキーステージ 斜面いどり工法 フォトリックアート

## シンプル施工と目視確認で橋梁保全

群馬県  
高崎市

### 超薄膜スケルトンはく落防災コーティング

群馬県高崎市は、市内にある長さ15m以上の道路橋についてその設置年数を調査。その結果、築50年を経過するなど老朽化・劣化しているとみられるものは現時点で10%前後であり、当座のひっ迫した危険度は高くないものと見積もっています。しかしながら10年後、20年後を見据えた場合、その比率は40%にまで上昇することが明白であるため、できる措置は積極的に進めこれからの維持管理コストを下げる方向での戦略を進めています。

そこで重要になるのが、予防措置そのものに加え、事後での点検のしやすさです。

こうした需要に向けた商品として岡三リビングが提供しているのがコンクリートのはく落対策と表面保護を兼ね備えた「スケルトン防災コーティング」です。

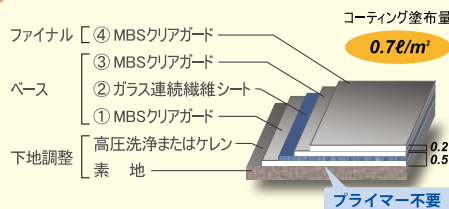
従来、同工種は不透明な材料でコンクリート表面を被覆するものが多



く、躯体に異常をきたした場合、被覆を広範囲で撤去しなければ異常箇所の特定ができませんでした。

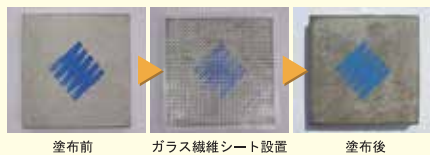
そこで採用されたのが「MBSクリアガード」をガラス連続繊維シートに含浸させることで高い透明度と強靭さを両立、水蒸気透過性にも優れた「超薄膜スケルトンはく落防災コーティング」。施工後もコンクリート表面が透けて見えるので、クラックや躯体表面の変状が容易に目視確

認でき異常箇所の早期発見と必要部分だけをピンポイントで再補修を行うことができます。



#### 特長 【透明性】目視点検の確実化

・MBSクリアガードをガラス連続繊維シートに含浸させることで、モルタル表面の砂粒が確認できる程度の透明度を実現。ひび割れ調査が可能。



#### 特長 【施工性】短時間で施工可能

・プライマー不要、MBSクリアガード（一液性）とガラス繊維のみのシンプルな構成のため、施工時間が短い。  
・本工法は部分的な切除、再施工が可能であるため、内部コンクリートが再劣化した場合の早期補修が可能。



#### 工事概要

施主：高崎市役所  
工事名：城南橋補修工事  
施工会社：株式会社川崎工務店  
施工規模：135m<sup>2</sup>

「必殺仕事人」 中央区八丁堀  
「必殺シリーズ」主人公・中村主水は「八丁堀の旦那」と呼ばれていた。八丁堀には江戸の同心（警備役）が住む一角があり、彼もここに居を構えていたと思われる。勤務先の南町奉行所（現在の有楽町駅前）までは一・二キロほど歩く。

「八百屋お七」 文京区本駒込  
火事で焼け出された時に出会った男性にもう一度会いたくて町に放火するといふ身勝手ぶりで逮捕され、罪状そのまま火あぶり刑に処された少女…というのは歌舞伎の作り話だが、お七という女性が放火で処刑されたのは史実らしい。

「番町皿屋敷」 千代田区五番町  
「いちまゝい」「にまゝい」と皿を数えるお菊の幽霊で有名な怪談だが、番町は今も名が残るかつての旗本屋敷街で、大きな道路区画と閑静な雰囲気江戸の名残を感じさせる。同じ話で姫路が舞台の場合は「播州皿屋敷」と呼ばれる。

「銭形平次」 千代田区外神田  
神田明神の境内にはなんと住む岡っ引き。神田明神の境内にはなんと平次の記念碑もある。一文銭を犯人に投げる攻撃が得意技というが、そば一杯が十六文する時代なので乱発は避けたい出費だ。

江戸の創作劇ゆかりの地

## 徒然月記

記：編集 T



岡三リビング株式会社

東京都港区港南1-8-27 日新ビル ☎03-5782-9080



札幌・盛岡・仙台・高崎・東京・新潟・金沢・長野  
静岡・名古屋・大阪・米子・広島・高松・松山・福岡  
鹿児島・沖縄リビング・岡三リビングベトナム